

# 取扱説明書

【お客様用】

## 車載式休憩所

RU-TCRFU  
クルケイ

このたびは、車載式休憩所 クルケイをお買い上げいただきまして  
まことにありがとうございます。  
(取扱説明書は必ず設置先の施設管理者様にお渡しください)

誤った使い方で生じる内容を次のように区分して、説明しています。



**警告**

「死亡または重傷を負うおそれがある」内容



**注意**

「軽傷を負う、または物的損害を受けるおそれがある」内容

お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。



してはいけないこと



しなければならないこと

本製品のご使用前にこの説明書および付属の説明書に記載されている  
内容をよく読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

**Hamanetsu**

TTCR-001

# 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1.各部名称 .....       | 2  |
| 2.使用上の注意 .....     | 3  |
| 3.積載・輸送方法 .....    | 10 |
| 4.使用方法 .....       | 13 |
| 5.お手入れ方法 .....     | 23 |
| 6.仕様 .....         | 23 |
| 7.故障かな？と思ったら ..... | 24 |
| 8.廃棄処分 .....       | 25 |
| 9.保証規定 .....       | 26 |

# 1.各部名称 ※低背トイレ装備の有リ無し共用

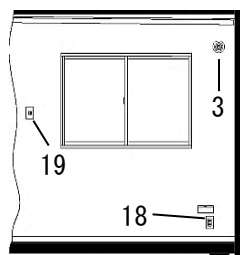


Fig. 1-1 室内  
(窓側)

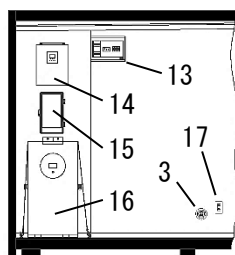


Fig. 1-2 室内  
(ソーラーシステム側)

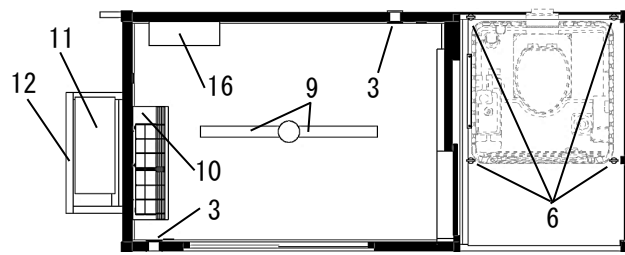


Fig. 1-3 平面(室内)

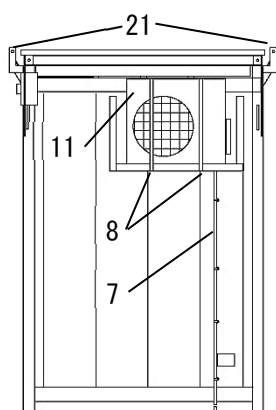


Fig. 1-4 左側面

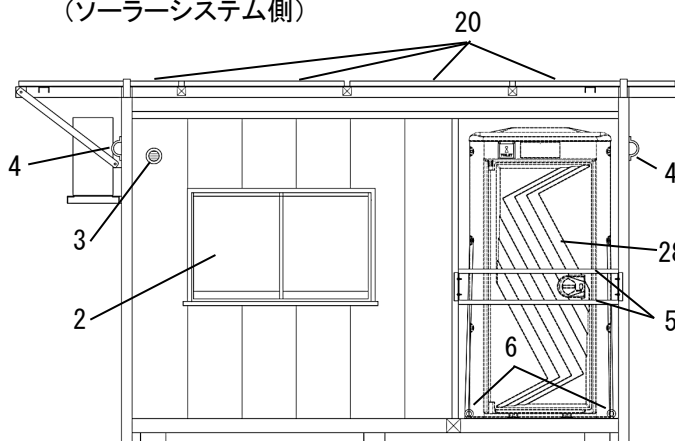


Fig. 1-5 前面(窓側)

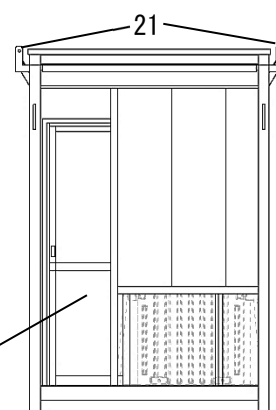


Fig. 1-6 右側面

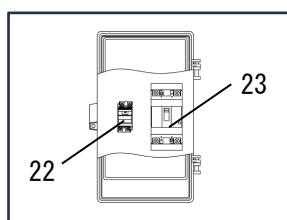


Fig. 1-7 配電盤

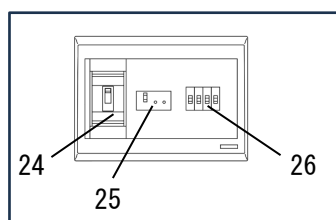


Fig. 1-8 分電盤

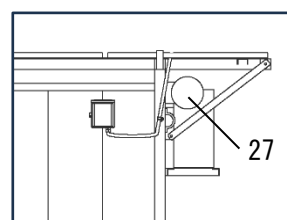


Fig. 1-9 後面(室外機側)

|    |                          |    |                                    |
|----|--------------------------|----|------------------------------------|
| 1  | 引き戸                      | 15 | 配電盤(ソーラーシステム、ブレーカー、Wi-Fi モジュール)    |
| 2  | 窓                        | 16 | 蓄電池(ソーラーシステム、容量:10.24kWh、出力:4200W) |
| 3  | ガラリ(前後、計 2 箇所)           | 17 | コンセント 2 口(後面側、15A)                 |
| 4  | 固定用金具(4 隅、計 4 箇所)        | 18 | コンセント 2 口(前面側、15A)                 |
| 5  | 柵                        | 19 | スイッチ(照明用)                          |
| 6  | アイボルト(計 4 箇所、トイレ固定用、着脱可) | 20 | ソーラーパネル(ソーラーシステム、4 枚搭載)            |
| 7  | 排水ドレン(エアコン室外機用)          | 21 | 吊り金具(移設等の吊り時に使用)                   |
| 8  | ラッシングベルト(エアコン室外機用)       | 22 | 直流ブレーカー(15A、ソーラーパネルからの入力)          |
| 9  | 照明(LED、14.6W)            | 23 | 直流ブレーカー(75A、バッテリーとインバーターの入出力)      |
| 10 | エアコン(室内機)                | 24 | 漏電ブレーカー(15A、外部電源からの充電用入力)          |
| 11 | エアコン(室外機)                | 25 | 漏電ブレーカー(30A、室内への出力、親ブレーカー)         |
| 12 | 取付架台(室外機用)               | 26 | 安全ブレーカー(20A、4 個、室内への出力、子ブレーカー)     |
| 13 | 分電盤(ソーラーシステム)            | 27 | コードリール(外部電源充電用、100V、コード 6m、アース付)   |
| 14 | インバーター(ソーラーシステム)         | 28 | 低背トイレ(有・無／詳細は別紙、低背トイレ取扱説明書に記載)     |

## 2.使用上の注意

下記の項目を怠ると傷害事故、器物破損のおそれがあります。

### **警告 ①火災・感電・漏電による傷害事故防止**

-  ご使用前には付属の取扱説明書に記載の「安全に関する重要な注意事項」を必ず読んでください。  
※ソーラーパネル(太陽電池モジュール)、インバーター(ハイブリット型)、蓄電池(スマート蓄電池)、コードリール、エアコン、Wi-Fi モジュール
-  インバーター、蓄電池、分電盤、配電盤等は防水仕様ではありません。室内清掃時に水がかからないよう注意してください。
-  付属のコードリールを使用する時(通電時)は、コードをすべて引き出して(引き出し限界線まで)使用してください。コードを巻いたまま使用すると発熱もしくは最悪の場合、発火するおそれがあります。
-  本体から煙が出たり異臭や異音を感じた場合、絶縁手袋を着用して漏電に注意して「4.使用方法」「Ⅱソーラーシステム(発電システム)の使用方法について」に記載されている「ソーラーシステムを停止(終了)する場合」の手順で作業を実施してシステムを停止してください。
-  インバーターや蓄電池の電源スイッチ、各ブレーカースイッチ以外の操作はしないでください。出荷時には問題なく使用できるよう設定されています。
-  外部電源(発電機等)からの蓄電池の充電中は、電気機器の使用をしないでください。
-  コードリールにて外部電源から充電するときは、交流 100V 以外の電源では使用しないでください。
-  医療機器に類するものや社会的・公共的に重要な機器、事業用機器などには使用しないでください。
-  本製品の内部には非常に危険な高電圧が発生します。漏電や感電などによる人身事故を防ぐため、お客様ご自身で分解や改造などを行わないでください。
-  濡れた手で触ったり、濡れた布で本体を拭いたりしないでください。感電による怪我や本体故障の原因となるおそれがあります。
-  故障の原因となりやすい悪環境下(塩害を受ける場所、ホコリや粉塵が多く発生する場所、化学性ガスの被害を受けやすい場所、発熱体の近辺など、高温になる場所など)では使用しないでください。
-  ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルの上にものを乗せたりしないでください。感電・発熱・発火の原因となるおそれがあります。
-  子供・乳幼児には手を触れさせないように注意してください。怪我や感電など、思わぬ事故の原因になります。
-  機器の近くで薬剤を散布しないでください。感電・発煙・発火のおそれがあります。
-  冠水や冠雪が発生した場合は、ただちに「7.故障かな?と思ったら」に記載の連絡先までご連絡ください。発煙・発火・火災・感電・怪我のおそれがあります。
-  各機器の端子に異物を差し込まないでください。感電・発煙・発火・火災・やけどなどのおそれがあります。
-  外部電源(コードリール)で発電機を使用する際、インバーター付き、出力 1.5kVA 以上で、ドライ接点仕様ではない発電機を使用してください。※ドライ接点仕様:「外部起動端子付」または「ATS 対応型」など発電機に記載あり
-  湿度が極端に高い場所や、外気温が 50℃以上になる環境、室内に雨や雪などの水が入りこむような場所では使用しないでください。漏電・感電・発煙・発火・火災のおそれ、または製品の故障の原因となります。
-  濡れた手で接続ケーブルや機器の電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。

- ⊘ バッテリーに液漏れが確認された場合には、絶対にその液体に触れないでください。万が一、液体が目や皮膚に付着した際には、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。失明や怪我のおそれがあります。
- ⊘ 各機器の本体や配線へ強い衝撃を与えないでください。故障、発煙、発火、火災のおそれがあります。
- ⊘ 可燃性スプレーや殺虫剤、引火性の強い溶剤などを近くで使用しないでください。発煙・発火・火災の原因となるおそれがあります。
- ⊘ 通電中や本体の電源を切った直後は、本体に直接素手で触れないでください。動作熱により高温になっており、やけどなどのおそれがあります。
- ⊘ 各機器の本体を塗装しないでください。本体の故障、発煙、発火、火災のおそれがあります。
- ⊘ 配線端子に接触すると感電するので絶対に触らないようにしてください。
- ⊘ 室内の水洗いは電気系統の故障および漏電につながり危険ですので、絶対にしないでください。
- ⊘ 漏電や感電などによる人身事故を防ぐため、お客様ご自身で分解や改造などを行わないでください。製品に異常や不良などが確認された場合、「7.故障かな？と思ったら」に記載の連絡先までご連絡ください。
- ⊘ ソーラーパネル(太陽電池モジュール)の稼働中は絶対に接続された配線の切断を行わないでください。火災や感電のおそれがあり危険です。
- ⊘ 子供・乳幼児には手を触れさせないようにご注意ください。怪我や感電など、思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 端子ボックスに衝撃を与えたり、ケーブルを引っ張ったりしないでください。端子ボックスに割れやひびが入ったり、ケーブルが外れたりすると感電や漏電による事故の原因になります。
- ⊘ 落雷のおそれがあるときは使用しないでください。また、雷が予測されるときは、火災や感電、本体の故障を防ぐためにソーラーシステムの使用を中止して、雷が鳴り出したら、本製品には触らないでください。落雷により、火災や感電、本体の故障につながるおそれがあります。
- ⊘ コードリールは以下の禁止事項を守らずに使用した場合、火災や感電、怪我の原因となるおそれがあります。万一、コードリールに損傷が生じた場合は、直ちに使用を中止してください。
  - コードを加工したり、傷つけたりしないこと。
  - コードを無理に折り曲げないこと。
  - 重いものをのせたり、引っ張ったりしないこと。
  - 熱器具に近づけたり、加熱したりしないこと。
  - コードをコンセントから抜く際は、必ずプラグの根元を持って抜くこと。
- ⊘ コードリールの電源プラグはアース付コンセントに差し込んでください。コンセントにアース接続できない場合は、電源プラグに付属のアース線から別途アースの接続を行ってください。



## 警告 ②移動・輸送による傷害事故防止

- ❗ 道路交通法を遵守してください。
- ❗ トラックの荷台等への積み降ろしは、クレーン、フォークリフト等を使用して有資格者が作業してください。
- ❗ 「Fig.3-1」を参照してフォークリフトのフォークは必ずクルケイ本体の長手側の後面から差し込んでください。  
なお、重心がエアコン室外機および蓄電池設置側に偏っています。低背トイレの有無でも重心が変わるため、注意してフォークの差し込みを行ってください。
- ❗ 室内に人がいないことを確認し、周囲の安全（人や器物等がないことの確認や必要な保護、防護）を確保してください。
- ❗ 都度積載状況を確認しクルケイ本体から部品が転倒、落下しないよう必要な安全策を実施してください。
- ❗ 輸送する際は必ずトイレユニットをトラックの荷台にラッシングベルト等で固定してください。
- ❗ トラックの荷台に固定する際、「Fig.1-5」を参照して、4 隅にある固定用金具を使用し、ラチェットバックル式両端フック付きのラッシングベルトにて緩みなく固定してください。
- ❗ クルケイ本体の戸や窓、低背トイレのドアが閉まっていることを確認してください。
- ❗ 部品やねじ等が緩んだり外れたりしていないことを確認してください。
- ❗ 各機器を固定しているラッシングベルト（室外機、ソーラーユニット、低背トイレ）にゆるみがないか確認してください。
- ❗ 運送途中の衝撃などにより、製品が破損していたり、取り付け部品が外れたりしているおそれがあります。  
使用の前に室内外の状態を必ず確認してから使用してください。
- ❗ 本製品を誤って落としたり、ぶつけてしまった場合には異常の有無を確認してから使用してください。
- ❗ 昇降タラップ（オプション）を専用の固定具（オプションの昇降タラップに付属）で固定し、輸送してください。
- ❗ 長距離輸送時の振動で緩みや脱落などが考えられますので、緩みの確認をし、必要に応じて適宜テープなどで固定してください。
- ❗ 他の積載物でトイレユニットが傷つかないように適宜、養生を行ってください。
- ❗ 移設時や運搬時に、振動や風などでコードリールの電源コードが破損しないよう対策してください。
- ❗ 移設時や運搬時、すべてのブレーカーおよび電気機器の電源が切れているか確認してください。
- ⊘ ラッシングベルトの状態を確認し、異常のあるラッシングベルトは使用しないでください。
- ⊘ 屋根上にソーラーパネルが設置されているため、クルケイ本体の固定用のラッシングベルト等をソーラーパネルの上に通さないでください。
- ⊘ 弊社が推奨するものや、方法以外で製品室内への同梱輸送をしないでください。破損の原因になります。
- ⊘ 強い衝撃を加えないでください。本体の故障、発煙、発火、火災のおそれがあります。
- ⊘ パーテーション（オプション）を取り付けたまま輸送や移動しないでください。破損、事故のおそれがあります。



## 警告 ③設置・気象条件等による傷害事故防止

- ❗ 傾斜地や不陸を避け、水平で平らな場所に設置（積載している場合は車両設置場所も含む）してください。
- ❗ 設置、保管時に強風などで移動したり転倒したりするおそれがあるので、転倒防止策を施してください。
- ❗ 台風等気象条件が悪い場合は、気象条件に合わせた防護策を施してください。

- ❗ 屋根に雪が積もった場合は、速やかに雪下ろしを行ってください。
- ❗ ソーラーパネルが太陽光から遮蔽されず影に覆われない場所に設置してください。
- ❗ 外気温が「-20℃～45℃」の範囲の場所を推奨します。また、ソーラーパネルの動作温度は「-40℃～85℃」です。推奨する設置場所にて使用してください。
- ❗ 雷雨の多発する地域では、ソーラーパネルを落雷から守る措置を行ってください。
- ❗ 雪・強風・寒冷地域・砂漠などの環境下では、ソーラーパネルの設置と稼働の安全性を確保するために環境に合わせて適切に保護措置を行ってください。
- ❗ 塩害や酸性雨、薬品等、使用環境によっては金属部品が短期間で腐食する場合があります。必要に応じてメンテナンスを実施してください。
- ⊘ 火山灰や硫黄などそのほかの腐食性の物質はソーラーパネルの性能に影響を与えるおそれがあるので、設置時にはこれらの物質が付着するおそれのある地域を避けてください。
- ⊘ 危険が予想される場所(火気など)の近くには設置しないでください。また、火気を近づけないでください。
- ⊘ 直接波しぶきがかかる岩礁隣接地域や、強風時に海水が飛散する地域では設置しないでください。

## ⚠ 警告 ④吊り上げ作業による傷害事故防止

- ❗ 必ず有資格者が行い、吊り上げに関わる法令・規則・安全の作業指針等を遵守してください。
- ❗ 屋根の両端 4 箇所の吊り金具にワイヤーロープを取付け、本説明書に記載「Fig. 3-2」の方法にて吊り上げてください。
- ❗ 吊り角度が 60° 以内になるように、吊り上げ用のワイヤーロープは長さ 4.5m、ワイヤ径 9mm 以上のものを使用し、4 本のベルトは同じ長さのものをご用意ください。
- ❗ 重心がエアコン側に片寄っています。吊り上げ時は注意して吊り上げを行ってください。
- ❗ 吊り上げ時は周囲の安全を確認し、荷振れ、接触等に注意し慎重に吊り上げてください。
- ❗ 吊り上げ用のワイヤーロープに破断や変形、ほつれ等の破損が無いことを確認してください。
- ❗ 周囲の安全を確認の上、作業を行ってください。
- ❗ 吊り上げ前に、周辺のパネル等に緩みや破損等の異常がないことを確認してください。
- ❗ 戸、窓、ドア(トイレ装備時)が閉まっていることを確認してください。
- ⊘ トイレユニット内に人がいる、または固定されていない部品がある等「危険が予想される」状態での吊り上げ作業は絶対に行わないでください。
- ⊘ 吊り上げ作業時は、吊り上げ機能を有していない重機等は使用しないでください。
- ⊘ 積載型トラッククレーンなどの急な動作や旋回により、吊り荷へ負荷や衝撃等を与えないでください。

## ⚠ 警告 ⑤外壁面加熱による傷害事故・器物破損防止

- ❗ 太陽熱で外壁面やドア外面、金属部分が高温となる場合があります。素肌での接触に注意してください。
- ⊘ 日中は手で太陽光パネル及び架台に触れないでください。日射が強い時には非常に高温となり危険です。



## 注意 ⑥その他傷害事故・器物破損防止

- ❗ 製品の本取扱説明書は破棄せず大切に保管してください。
- ❗ ボルトなどを含む製品構成部材で怪我をしないように注意してください。
- ❗ 塩害や酸性雨、薬品等、使用環境によっては金属部品が短期間で腐食する場合があります。必要に応じてメンテナンスを実施してください。
- ❗ 本体の清掃は有機溶剤(シンナー・ベンジンなど)、強アルカリ性物質、および強酸性物質などを使用せず、乾燥したやわらかい布で行ってください。本体の変色や故障の原因となるおそれがあります。
- ❗ お客様独自で改造し、トラブルが発生した場合におきましては保証製品の対象外となります。
- ❗ 日常点検とお手入れは必ず行ってください。サビの発生など本体外観に異常がないか確認してください。
- ❗ 銘板や製番シールは剥がさないでください。剥離された場合、保証の適用外とされる場合があります。
- ❗ エアコン使用時、外部ドレンホースから出水することを確認してください。
- ❗ 異なる電圧で使うと火災や感電、故障の原因となることがあります。指定された電圧で使用してください。
- ❗ 設置環境の積雪荷重、風圧はソーラーパネル 1 枚あたりの保証荷重を超過しないように注意してください。  
●保証荷重: 正圧 3,600Pa、負圧 1,600Pa ※詳細は付属のソーラーパネルの取扱説明書を参照
- ❗ 蓄電池は内部に変圧機構を有しており、本体から微弱な電磁波が発生することがあります。下記の製品は付近に設置されると電波の干渉により正常に作動しない場合がありますので、できるだけ離して設置してください。  
●電子レンジ ●Bluetooth 機器 ●コードレス電話 ●ワイヤレス AV システム(ワイヤレススピーカ)など
- ❗ 蓄電池の残容量が 10%未満になると電気機器が使用不可となり、また残容量が 0%になると蓄電池の仕様により、充電ができなくなります。残容量が 25%以下になったら、早めに充電を実施してください。
- ❗ 蓄電池の利用状況を監視するためのデータ監視用無線機器(Wi-Fi モジュール機器)は、無線による通信を行います。無線通信による影響が発生する可能性のある機器はできるだけ離して設置し、影響が無くなった事を確認してから本製品を使用してください。
- ❗ 蓄電池を廃棄される際には、地方自治体の定めた処分方法に従って廃棄してください。
- ⊘ 蓄電池の放熱に十分な空気が流入できる状態にするため、本体を中心とし、周囲「200mm」の範囲内には物を置いたりしないでください。
- ⊘ 蓄電池は計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありません。電力量の証明に用いることはできません。
- ⊘ 蓄電池の操作パネル及び液晶画面部分は傷つきやすいので、ボールペンなど先端の固いものや鋭利なもので操作しないでください。
- ⊘ 医療機器に類するものや社会的・公共的に重要な機器などには使用しないでください。
- ⊘ 故障の原因となりやすい悪環境下(塩害を受ける場所、ホコリや粉塵が多く発生する場所、化学性ガスの被害を受けやすい場所、酸性雨、石炭の煙が過剰な地域など)では使用しないでください。
- ⊘ 入り口の引き戸を勢いよく開閉しないでください。破損したり手や指を挟んで怪我をするおそれがあります。
- ⊘ 室外機架台には、エアコン室外機以外を載せないでください。
- ⊘ たばこやお香など、“ヤニ”が発生するものや場所の近くに設置しないでください。安全性の低下や性能の劣化が発生するおそれがあります。



- ⊘ 室内の水洗いは電気系統の故障および漏電につながり危険ですので、絶対にしないでください。
- ⊘ 保管時にはクルケイの 2 段積みは絶対にしないでください。
- ⊘ 本製品は日本国内でのみ使用できます。異なる電圧で使うと火災や感電、故障の原因となることがあります。指定された電圧で使用してください。
- ⊘ ソーラーパネルに取り付けられている部品や銘板(ラベル)は取り除かないでください。
- ⊘ ソーラーパネルは発電以外の用途には使用しないでください。
- ⊘ ソーラーパネルに塗装したり、接着剤を使用しないでください。
- ⊘ ソーラーパネルの受光面に集光器等で人為的に太陽光を集光照射させないでください。
- ⊘ ソーラーパネルの表面やケーブルに傷や油、汚れなどを付けたり、ものをぶつけないようにご注意ください。また、金属等硬いもので擦ったりキズつけたりしないでください。
- ⊘ ソーラーパネルが破損するおそれがありますので、本体を踏んだり乗ったりしないでください。
- ⊘ ソーラーパネルを落したり、パネル面や裏面に硬いもの・重いものを落したりしないでください。
- ❗ 付属のコードリールにオイルなどの異物を入れたり、付着させたりしないでください。コードリールのドラム内部に異物が入ったり、外装に塗装ミストなどの異物が付着したりすると故障の原因となることがあります。万一異物が入った場合は直ちに接続された機器を外してください。
- ❗ 付属のコードリールを電源供給以外の目的に使用しないでください。目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因となり、怪我や施設・設備等の損傷をまねくおそれがあります。
- ❗ 付属のコードリールのコードには絶対ぶらさがらないでください。リールの落下、本体の破損や故障の原因となり、怪我や設備等の破損をまねくおそれがあります。
- ❗ 付属のコードリールのコード出口の中に手をいれないでください。怪我をするおそれがあります。
- ❗ 付属のコードリールのコードに負荷のかかる使用は本体やコードの破損、故障の原因となります。
- ❗ 付属のコードリールは定格電圧・電流を超えて使用しないでください。リール本体、コードおよび接続された機器の故障や、火災や感電の原因になるおそれがあります。製品の仕様をご確認のうえ、使用してください。接続された機器が正しく動作しない場合があります。
- ❗ 付属のコードリールの使用時の注意点は 17 ページをご確認のうえ使用してください。
- ⊘ 付属のコードリールには電圧の高い部分があるため本体をむやみに開けたり改造したりすると、故障や異常動作の原因となることがあります。また、本製品には強力なゼンマイが内蔵されています。部品等が勢いよく飛散し、怪我をするおそれがあります。修理技術者以外による分解・修理・改造はしないでください。
- ❗ 昇降タラップ(オプション)を使用時は同時に 2 人以上では使用しないでください。
- ❗ 昇降タラップ(オプション)はアルミ製で電気を通します。移動や設置の際は周囲の電線に注意してください。
- ❗ 昇降タラップ(オプション)は人と荷物との合計が 100kg 以下で使用してください。
- ❗ 昇降タラップ固定具(オプション)に付属しているゴムバンドは消耗品です。使用前に確認していただき、ゴムバンドにキズ・損傷・劣化のような症状が見られる場合、ゴムバンドの使用を中止し、新品と交換してください。そのまま使用を続けると積載物の落下等の原因となります。
- ❗ 昇降タラップ固定具(オプション)のゴムバンドの損傷、劣化による、積載物の破損、落下による二次災害等につきましては、一切責任を負いかねますので、取り扱いには充分ご注意ください。
- ❗ 昇降タラップ固定具(オプション)を使用時、最高速度は法定速度以下に抑え、急旋回、急ハンドル、急発進、急ブレーキ、悪路などでの過度の運転を避けてください。

- ❗ 昇降タラップ固定具(オプション)はノブ・ゴムバンドにゆるみがないか確認し、しっかりと締め付けてください。
- ⊘ 昇降タラップ(オプション)を利用して昇降する際は、積載しているトラックのサイドブレーキ、パーキングブレーキを引き、車止めを使用してタイヤを固定し、キーを抜き、不用意な発進ができないようにしてください。
- ⊘ 昇降タラップ(オプション)の接地面が不安定な状態(雪・氷・ぬかるみ・砂地・タイルなど)や左右の接地面が平らにならない傾斜地などは使用禁止となります。
- ⊘ 昇降タラップ(オプション)を使用時は滑りにくい履き物で、ステップ中央を1段ずつゆっくりハシゴ面の正面を向いて昇降してください。
- ⊘ 昇降タラップ(オプション)はステップが水平になるように設置してください。昇降しにくくなるような斜めの角度では設置しないでください。
- ⊘ 昇降タラップ(オプション)はトラックのアオリや足場パイプ以外の、フックが引っ掛けられない壁などでは使用できません。フック内寸幅、約 740mm が引っ掛けられる場所で使用してください。
- ⊘ 昇降タラップ(オプション)はクルセイへの昇降の用途以外には使用しないでください。

### 3.積載・輸送方法

#### ⚠ 警告

- ❗ 「2.使用上の注意」を厳守し、下記に示す内容に従い作業を行ってください。
- ❗ 重心がエアコンの室外機側に寄っているため持ち上げた際に滑落するおそれがあります。なお、低背トイレ装備の有無によっても重心位置が変わります。地切り(少し持ち上げた状態)の際、必ず左右の重量バランスを確認したのち、本体が完全に安定していることを確かめてから揚重(持ち上げ)を行ってください。
- ❗ 移動・運搬作業を行う前に、低背トイレの洗浄タンク内や汚物タンク内などを必ず空にし、室内に固定されている標準装備品(エアコン・ソーラーシステム・蓄電池等)以外の物品は、必ずすべて室外へ出してください。  
※机、椅子、その他お客様が持ち込まれた私物や資材が室内に残っていると、積載・輸送中に製品内部で破損したり、予期せぬ重心の偏り(偏荷重)が発生して滑落事故の原因となります。

・外観外寸は全幅 4,700 mm(休憩所幅 3,600 mm) × 全奥行 1,900mm(休憩所奥行 1,700 mm) × 全高 2,580 mm  
重量約 1,320 kg です「Fig.3-1」。トラック、フォークリフト、クレーンの選定にお役立てください。

※寸法、重量および高さ制限に注意しトラックの選定を行ってください。

### I フォークリフトを使用した積載について

#### ⚠ 警告

- ❗ フォークリフトの仕様は 3t(定格荷重)以上、1,800mm 以上の長爪またはサヤフォークを装着してください。
  - ❗ フォークは必ず後面側から差し込んでください。
- ① 上記条件のフォークリフトにて後面側から「Fig. 3-1」に示した範囲にフォークを差し込んでください。  
その際、フォークの爪は必ず左右均等に最大限広げて差し込んでください。
  - ② 地切り(少し持ち上げた状態)の際、左右の重量バランスを必ず都度確認してください。  
製品の重心(下記破線)がフォークリフトの中心(センター)に位置し、安定していることを必ず確認してください。
  - ③ 周囲の安全を確保しながら慎重に持ち上げて、積載するトラックに載せてください。

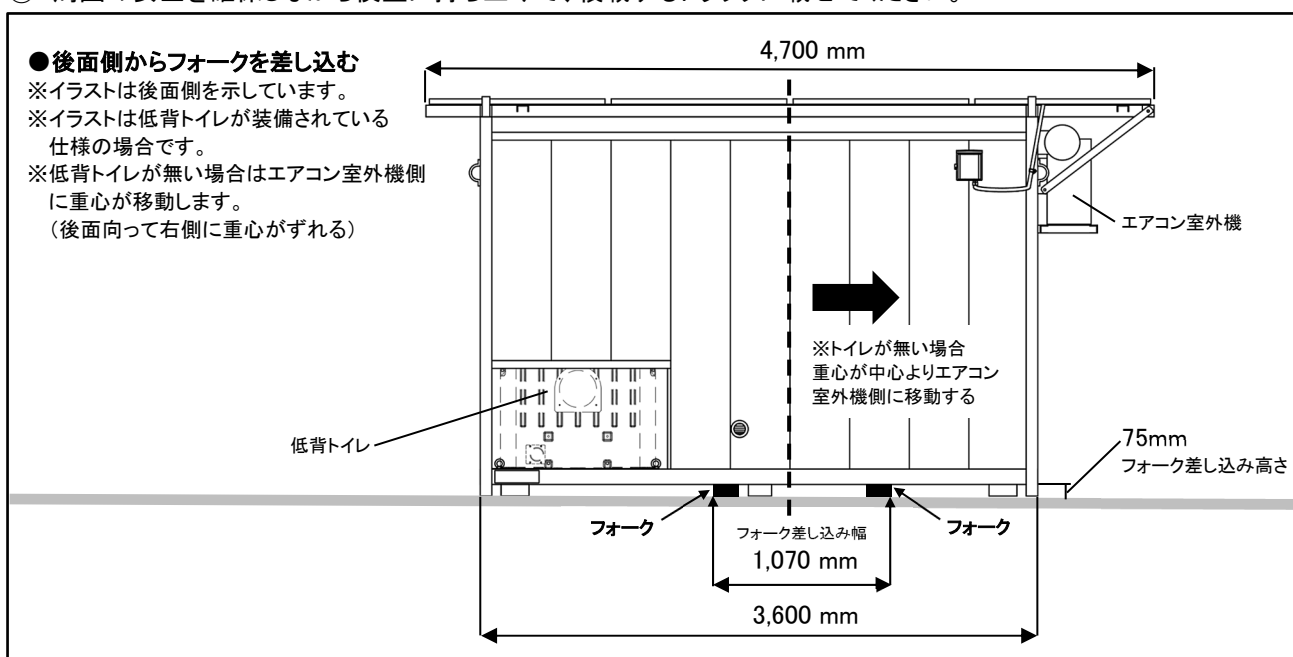


Fig. 3-1 差し込み位置

## Ⅱ クレーンを使用した積載について

### ⚠ 警告

- ❗ 吊り上げ用ワイヤーロープの状態を確認し、異常のあるものは使用しないでください。
- ❗ 吊り上げ時、屋根の上に絶対に乗らないでください。
- ① ワイヤーロープを「Fig. 3-2」のように屋根上 4 隅の吊り金具にかけてください。
- ② 吊り上げには、長さ 4.5m 以上、ワイヤの直径 9mm 以上のワイヤーロープを使用してください。  
吊り上げ角度は 60° 以内で、吊り上げ用のワイヤーロープは 4 本同じ長さのものを使用してください。
- ③ 地切り(少し持ち上げた状態)の際、左右の重量バランスを必ず確認してください。重心がエアコン側に片寄っています。安定していることを必ず確認してください。
- ④ 吊り上げ時は周囲の安全を確認し、荷振れ、接触等に注意し慎重に吊り上げてください。
- ⑤ 周囲の安全を確保しながら、積載するトラックに載せてください。

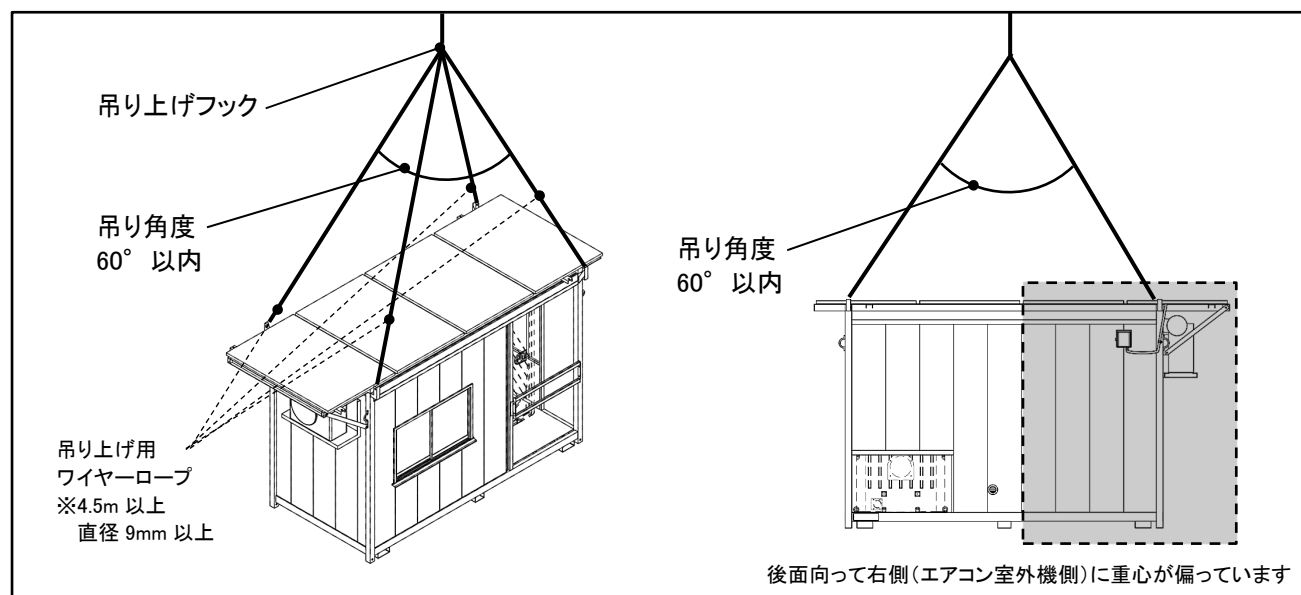


Fig. 3-2 吊り上げ用ワイヤーロープのかけ方

## Ⅲ 積載トラックでの固定方法・輸送について

### ⚠ 警告

- ❗ 固定用のラッシングベルトは、ラチェットバックル式(両端フック付き)の使用を推奨します。
- ❗ 固定用のラッシングベルトの状態を確認し、異常のあるものは使用しないでください。
- ❗ 本体 4 隅の固定金具を使用し、固定用のラッシングベルトで確実に固縛してください。
- ❗ 低背トイレ装備の場合、トイレのフラPPERロックを「Fig.3-4」を参考にしてロックし、輸送してください。
- ❗ 引き戸、窓と窓のシャッター(オプション)は必ず施錠(閉めて)して輸送してください。
- ❗ 昇降タラップ(オプション)は付属の固定金具で「Fig.3-5」を参考にして固定したのちに輸送してください。
- ❗ パーテーション(オプション)はクルケイ本体から必ず取り外し、そのあと移動・輸送してください。
- ❗ 長距離輸送時には 300km を目安に増し締め確認を実施してください。
- ⊘ 屋根の上のソーラーパネルにロープ等を通して固縛しないでください。ソーラーパネルが破損します。

- ① 荷台に積載したら「Fig. 3-3」のように四隅にある固定用金具に固定用のラチェットバックル式両端フック付きのラッシングベルトを使用し、荷台に固定してください。
- ② エアコン室外機の輸送時の飛来物(ゴミ、虫、風雨等)を防ぐ為、必要に応じてカバーを用意し保護してください。  
※エアコン室外機用カバー推奨サイズ(約):幅 840mm×奥行 300mm×高さ 560mm

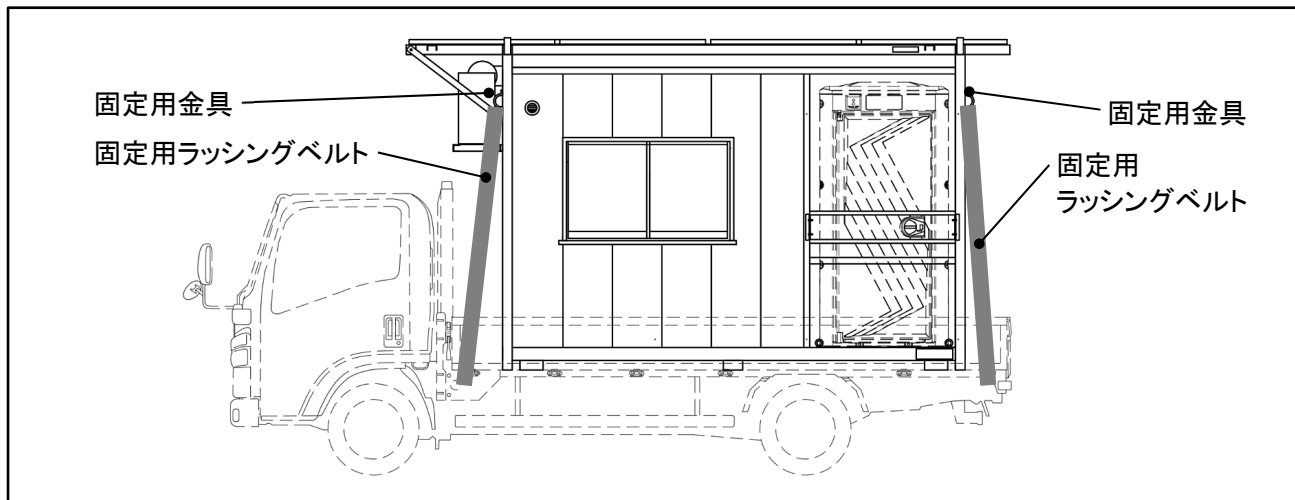


Fig. 3-3 車両への固定方法

**○ロックの手順 ※解除手順の逆手順**

- ・悪路など走行時の振動でフラッパーが開き、排水口から汚物漏れが発生する可能性があります。便槽に付属するフラッパーロック金具を使用し、便器部の排水口にあるフラッパーのロックをしてください。
- ・①ロック解除状態→②蝶ねじ外す→③カバーを外す→④レバーを押し込みロックする→⑤カバーを戻す→⑥蝶ねじを締める

**○ロックの解除手順**

- ・トイレの使用開始時は必ず解除してください。
- ・ロックの逆手順で解除してください。

**○便器部詳細**

**○便器付属の手順シール見本**

Fig. 3-4 フラッパーロックの使用方法(ロック解除、ロック)

**○昇降タラップ固定金具取付方法**

- ・柵の上下の棧に①～③の順に写真のように計 4 個固定します。

**○昇降タラップ固定方法**

- ・固定金具に④～⑤の順で昇降タラップの手すりを固定します。固定金具に付属のゴム製ベルトで昇降タラップの手すりを巻くようにして計 4 箇所、それぞれ固定します。

Fig. 3-5 昇降タラップ(オプション)の固定方法

## 4.使用方法

### I クルケイ(休憩室)の使用方法について ※トラックに積載されている状態にて

- ① 設置現場にてトラックの荷台に積載された状態でトラック荷台の後方のあおりを倒して昇降タラップを設置してください。その際、事前にトラックのサイドブレーキをしっかりと引き、運転キーを抜いてトラックが動き出さないようにしてください。必要に応じてタイヤストッパーなど使用してタイヤ止め等の対処を施してください。  
トイレ入室用のパーテーション(オプション)を設置の際は、「Ⅲパーテーション(オプション)の使用方法について」をご確認いただき、説明に従い取り付けてください。
- ② クルケイ室内のソーラーシステムの電源を起動してください。起動方法は「Ⅱソーラーシステムの使用方法について」を参照してください。
- ③ クルケイ室内が暗い場合は照明用のスイッチで照明を点灯してください。  
※ソーラーシステムを起動後、充電残量が 10%未満の場合は使用できません。
- ④ クルケイ室内の空調はエアコン用の操作用リモコン(付属)にて起動して使用してください。  
※ソーラーシステムを起動後、充電残量が 25%以上での使用を推奨いたします。  
使用方法等の詳細は付属の「エアコン取扱説明」をご確認ください。
- ⑤ クルケイ室内では電気製品を使用することができます。コンセントの箇所は「1 各部名称」にてご確認ください。  
「100V 2 ロコンセント」が 2 箇所設置してあります。使用可能な蓄電容量は「Ⅱソーラーシステムの使用方法について」および「6.仕様」をご確認ください。
- ⑥ クルケイの使用を終えるときは室内の電気製品の電源を切り、その後発電システムの電源を「Ⅱソーラーシステムの使用方法について」に記載の順番(起動方法の逆の手順)で停止してください。  
お客様で設置された電気機器や備品がある場合は、運搬時に動かないようしっかり固定、もしくは養生をしてください。対応が困難な場合は、備品等を室外に撤去し室内を空の状態にしてから運搬してください。  
※ソーラーシステム、エアコン等標準装備品はそのままの設置状態で問題ありません。  
窓を閉め(オプションのシャッターを設置の場合はシャッターを閉めてください)、入り口の扉を施錠してください。  
低背トイレ(付属の場合)室内にあるフラPPERロックでフラPPERをロックし、トイレドアのドアラッチの鍵を施錠してください。パーテーション(オプション)は「Ⅲパーテーション(オプション)の使用方法について」をご確認いただき、説明に従い取り外してください。  
設置してある昇降タラップを撤去してください。オプションの昇降タラップをご使用いただいている場合は「Ⅳ昇降タラップ(オプション)使用方法について」をご確認いただき、付属の昇降タラップ用固定具にて昇降タラップ(オプション)を固定してください。その後、あおりを元に戻し閉めてください。  
運搬時には飛来物の恐れがあるので、エアコン室外機に対して必要に応じてカバーをして保護してください。  
推奨サイズ(約):幅 840mm×奥行 300mm×高さ 560mm。
- ⑦ クルケイを荷台に固定している固縛用の固定ロープやラッシングベルトの締め具合(ゆるみ、たるみ、ロープやラッシングの破損確認)を確認し、安全に運搬できる状態を確認してください。



## Ⅱ ソーラーシステム(発電システム)の使用方法について

### ○ 電源の起動手順および蓄電池への充電方法「Fig.4-1」

- ① 蓄電池本体前面の電源ボタンを押す。数秒後(10 秒程度)、画面が表示されます。表示には蓄電池の充電残量(SOC=残容量は%表示)、電圧(V)、電流(A)、容量(Ah)などが表示されます。
- ② 配電盤のカバーを開き、内部にある 75A 直流ブレーカーのレバーを「ON」側へ上げてください。  
レバーを上げたあと赤表示「ON」が見えます。
- ③ インバーター底面にあるスイッチの電源を入れてください。インバーター本体前面の画面が表示されます。
- ④ インバーター左側面にあるブレーカースwitchのレバーを「ON」側へ上げてください。
- ⑤ 配電盤のカバーを開き内部にある 15A 直流ブレーカーのレバーを「ON」側へ上げてください。  
上げたあと赤表示「ON」が見えます。
- ⑥ 分電盤にある 15A 交流ブレーカーのレバーを「入」側へ上げてください。上げたあと表示「入」が見えます。
- ⑦ 分電盤にある 30A 交流ブレーカーのレバーを「入」側へ上げてください。上げたあと表示「入」が見えます。
- ⑧ 分電盤にある 20A 交流ブレーカーのレバー(3 本)「入」側へ上げてください。上げたあと赤表示が見えます。

※照明用、コンセント用、エアコン用です。残りのレバー1 本は予備用なので使用しません。

以上で起動手順になります。起動が完了すると自動的に蓄電池へ充電が開始され、電気機器が使用できます。

○ ソーラーシステムを停止(終了)する場合は上記の逆の手順(⑧→①)で操作し停止してください。



Fig. 4-1

### ○ 電気機器の使用方法

- ・エアコン、照明、換気扇(オプション)、コンセントは発電システムを起動すると使用可能になります。
- ・換気扇(オプション)を取り付けた場合は換気扇付近にあるコンセントを使用してください。
- ・電気機器はコンセント(出荷時周波数 50Hz)を使用してください。
- ・コンセントの位置、容量は「Fig.1-1、Fig.1-2」を確認してください。
- ・インバーターおよび蓄電池の表示やその他の詳細は付属の取扱説明書をご確認ください。

## Ⅲ 発電システムの注意点、エラー表示について

### ○ ソーラーシステム(蓄電池、インバーター、分電盤、配電盤)の注意点

- ・蓄電池の残量が 20%以下になると「ピー、ピー」と電子音がインバーター本体から鳴ります。その場合は各電気製品の使用は中止し、25%以上になるように充電を開始してください。  
25%を超えると電子音が消え電気機器が使用できるようになります。なお 10%未満になった場合蓄電池保護のため強制的に電気機器が使用できなくなります。万が一、0%になった場合、充電していても容量が増えない場合は、故障が疑われる可能性が高いので「7.故障かな?と思ったら」に記載の連絡先までご連絡ください。
- ・蓄電池の容量を常に 50%以上を維持できるよう必要に応じて充電を実施してください。
- ・蓄電池の容量は満充電でも「98%」と表示されますが、故障ではありません。「98%」が満充電になります。  
※蓄電池への負荷を軽減するための設定です。

### ○ インバーターにエラー表示が出た場合「Fig. 4-2」

- ・エラー表示:「FAULT の赤色 LED」が点滅／表示窓上部に、「2桁数字と ERROR マーク」が表示
- ・対応:上記の表示が出た場合は「7.故障かな?と思ったら」に記載の連絡先までご連絡ください。

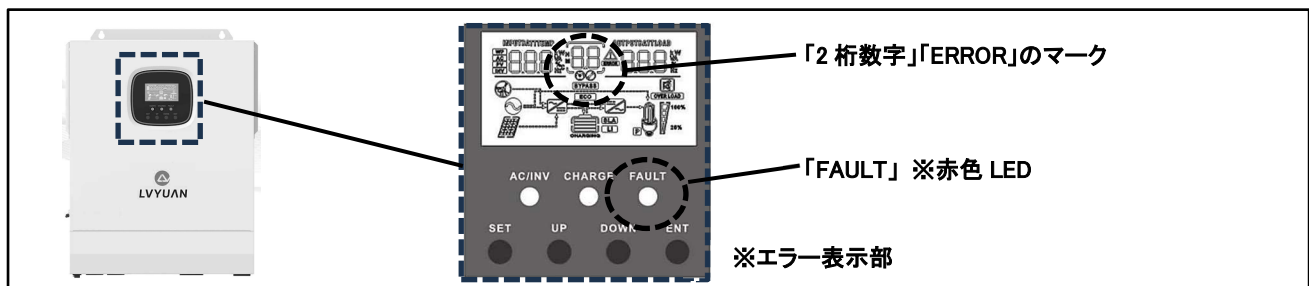


Fig. 4-2

### ○ 蓄電池にエラー表示が出た場合「Fig. 4-3、Fig. 4-4」

- ・エラー表示:「ALM ※赤色 LED」が点灯または点滅し「CAPACITY ※緑色 LED」の配列によりエラー内容を指示。
- ・対応:上記の表示が出た場合は「7.故障かな?と思ったら」に記載の連絡先までご連絡ください。

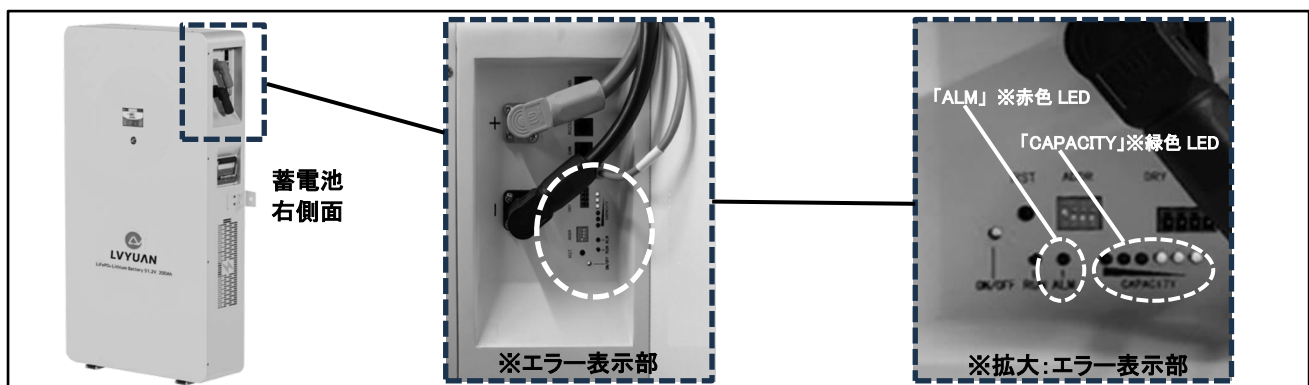


Fig. 4-3

【LED 動作状態表】

| 状態 | 正常/警報/保護          | ON/<br>OFF | RUN | ALM | バッテリー残量 LED 表示        |    |    |    |    |    | 説明                        |
|----|-------------------|------------|-----|-----|-----------------------|----|----|----|----|----|---------------------------|
|    |                   |            |     |     | L6                    | L5 | L4 | L3 | L2 | L1 |                           |
|    |                   |            |     |     |                       |    |    |    |    |    |                           |
| オフ | 休眠                | オフ         | オフ  | オフ  | オフ                    | オフ | オフ | オフ | オフ | オフ |                           |
| 待機 | 正常                | 点灯         | 点滅1 | オフ  | 電量指示に基づいて             |    |    |    |    |    | 待機状態                      |
|    | 警報                | 点灯         | 点滅1 | 点滅3 |                       |    |    |    |    |    | モジュール低圧                   |
| 充電 | 正常                | 点灯         | 点灯  | オフ  | 電量指示に基づいて             |    |    |    |    |    | 最大電量 LED 点滅 (2回点滅)、過      |
|    | 警報                | 点灯         | 点灯  | 点滅3 | バッテリー満タンになると LED が点滅2 |    |    |    |    |    | 充電警報時には ALM は点滅しない        |
|    | 過充電保護             | 点灯         | 点灯  | オフ  | 点灯                    | 点灯 | 点灯 | 点灯 | 点灯 | 点灯 | 市電がない場合、インジケータは待機状態に切り替わる |
|    | 温度、過流、故障保護        | 点灯         | オフ  | 点灯  | オフ                    | オフ | オフ | オフ | オフ | オフ | 充電停止                      |
| 放電 | 正常                | 点灯         | 点滅3 | オフ  | 電量指示に基づいて             |    |    |    |    |    |                           |
|    | 警報                | 点灯         | 点滅3 | 点滅3 |                       |    |    |    |    |    |                           |
|    | 欠圧保護              | 点灯         | オフ  | オフ  | オフ                    | オフ | オフ | オフ | オフ | オフ | 放電停止                      |
|    | 温度、過流、短絡、逆接続、故障保護 | 点灯         | オフ  | 点灯  | オフ                    | オフ | オフ | オフ | オフ | オフ | 放電停止                      |
| 故障 |                   | オフ         | オフ  | 点灯  | オフ                    | オフ | オフ | オフ | オフ | オフ | 停止充、放電                    |

Fig. 4-4

## IV コードリールの使用について(外部電源からの充電)

### ○ コードリールでの蓄電池への充電方法、注意点など

- ・ソーラー充電不可の時、自動的にコードリールから充電します。
- ・外部電源の周波数は 50Hz および 60Hz どちらも使用できます。
- ・外部電源として発電機を使用する場合、以下の仕様になります。

**仕様: インバーター付、AC100V、1.5kVA 以上、**

**ドライ接点ではない仕様**

**※ドライ接点: 外部起動端子付、ATS 対応型のこと**

### ○ 充電の際は下記手順を必ず守って実施してください。

#### ① コードの引き出し

- ・本体正面から静かに引き出してください(引き出した位置でロックされます)。長さは 6m です。引き出し限界線以上は引かないでください。急激に最後まで引くと、内部ドラムが空転してロックされ、巻き戻らなくなるおそれがあります。また横方向に引くと、本体に負荷がかかり破損・落下のおそれがあります。

#### ② 充電の開始 (Fig.5-1)

- ・コンセントプラグを外部電源(商用コンセント・発電機)に差し込みます。ソーラーパネルからの充電が不可の場合 **インバーターが判断して(ソーラーパネルからの供給が無くなると)充電が開始**されます。インバーターと蓄電池のモニター画面で充電していることを確認してください。※アースクリップをアース取付箇所へ取り付けてください。

### ○ コードの巻き戻し方法(充電完了後)

- ・急な巻き戻しは人や物への衝突による怪我・破損や乱巻き(コードの絡まりによる動作不良)の原因になります。充電完了後は外部電源からコンセントプラグを抜き、ロックを解除(軽く手前にコードを引く)し、コードをリール本体へ巻き戻してください。その際、必ずリール本体の正面から静かにコードを持ちゆっくりと巻き戻してください。

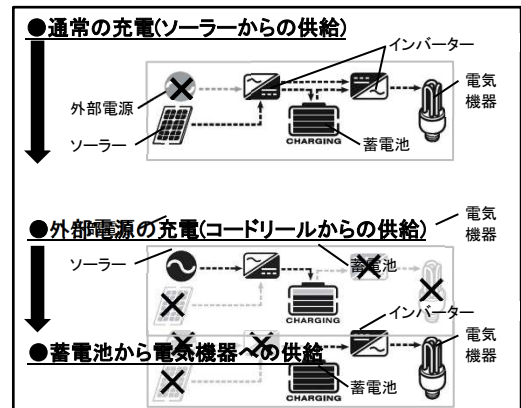


Fig. 5-1

## V コードリールの使用時の注意点について

### ○ コードリールに関する注意点

- ・コードリール使用時は電気製品の使用は禁止となります。コードリールが高熱になり危険です。
- ・ソーラーシステムの起動後にコンセントプラグを差してください。
- ・コードリール使用時はコードリールを全て引き出してから使用してください。
- ・コード: 急に曲げない、重量物の下敷きにしない、工具等で挟まない、高温物に近づけないでください。
- ・リール本体: 衝撃を与えない、ロック未状態で手を離さないでください。
- ・共通: 水、オイル、床洗浄剤、塗装ミストを付着させないでください。

### ○ 温度過昇防止スイッチ(サーモスタット)について

- ・コードリールには過度の温度上昇を防止するため、コードの温度が一定温度に到達すると自動的に電源を遮断する、温度過昇防止スイッチ「サーモスタット」が、本体ドラム内にセットされています。
- ・サーモスタット作動後はコードを全て引き出し、クルケイ室内の電気機器の電源を必ず切って(OFF)ください。
- ・サーモスタット作動後、温度が下がると自動的に復帰します。

## VI コードリールの点検について

### ○ コードリールの始業点検、定期点検

- ・作業をはじめる前に以下の表にて点検項目を確認し、実施してください。
- ・定期点検は、使用頻度にかかわらず 6 ヶ月毎に実施してください。

| 点検箇所                                                               | 点検方法    | 内容                                    |
|--------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------|
| コード                                                                | 目視      | 変形・破損・摩耗はないか                          |
|                                                                    | 目視／掃除   | 汚れ(水・油・泥)はないか                         |
|                                                                    | 動作確認／目視 | 引き出し・巻き取りはスムーズか                       |
|                                                                    | 動作確認／目視 | 引き出し限界線までコードをすべて引き出し、問題なくロックがかかるか     |
| コンセントソケット                                                          | 目視      | 変形(よじれ、折れ曲がり)・破損(傷、破れ等)<br>・摩耗・硬化はないか |
|                                                                    | 目視／掃除   | 汚れ(水・油・泥)はないか                         |
| 接続機器                                                               | 目視      | 変形・破損・摩耗はないか                          |
|                                                                    | 目視／掃除   | 汚れ(水・油・泥)はないか                         |
|                                                                    | 動作確認／目視 | 機器が正しく動作しているか                         |
| リール本体                                                              | 目視      | リール取付部のねじのゆるみがないか                     |
|                                                                    | 目視      | リール本体に変形や著しい摩耗などがないか                  |
| コードが引き出しにくい・巻き戻りにくい場合は、シリコン系スプレー等の潤滑剤をコードに薄く塗布していただくと改善されることがあります。 |         |                                       |

## ○ コードリールの終業点検

- ・安全のため電源ブレーカーを切り、通電を遮断してください。
- ・コードやコンセントソケットに付着した汚れ(水・ゴミ・油など)を乾いた布できれいに拭きとってください。  
この時、何か異常が見られる場合、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店にご相談ください。
- ・コードに断線や被覆はがれ、硬化、接続器具との接触不良が見られる場合は必ず交換してください。  
火災・感電の危険性があります。直ちに使用を中止してください。

## ○ 故障と処置

- ・不具合が見られる場合はもう一度本書をよく読んでご確認ください。

| 症状                                         | 原因                           | 処置                                       |
|--------------------------------------------|------------------------------|------------------------------------------|
| 電気がこない                                     | 電源が入っていない                    | 電源スイッチを入れる                               |
|                                            | コンセントソケット部の接続不良              | コンセントプラグを差し込み直す                          |
|                                            | サーモスタットが作動している               | コード全て引き出し、しばらく待つ<br>※参照:「温度過昇防止スイッチについて」 |
|                                            | サーモスタットが故障している               | サーモスタットの交換                               |
|                                            | コードの断線<br>※コードは消耗品です         | コードの交換                                   |
|                                            | リール内部接点の不良<br>※接点は消耗品です      | 接点の交換                                    |
| コードが<br>出てこない                              | ラチェットの破損・引っ掛かり               | 下記連絡先                                    |
| コードが<br>巻き戻らない                             | ゼンマイの破損                      | 下記連絡先                                    |
|                                            | コードの引き出し過ぎによる<br>ラチェットの引っ掛かり | 下記連絡先                                    |
|                                            | コードの乱巻き                      | コードを引き出し、ゆっくりと<br>手を添えて巻き戻す              |
| コードが<br>止まらない                              | ラチェットの破損                     | 下記連絡先                                    |
| 改善がみられない場合は「7.故障かな?と思ったら」に記載の連絡先までご連絡ください。 |                              |                                          |

## ○ コードリールの消耗品について

- ・長期間使用されますと消耗部品の経年劣化や使用環境による磨耗により、コードの断線や被覆はがれの原因となることがあります。下記交換時期を目安とし、定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。
- ・ジョイントコードを含むコード類 交換目安 5 年
- ・内部接点 Assy、サーモスタット 交換目安 5 年
- ・上記年数は目安であり保証値ではありません。  
異常が見られない場合でも定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。



## VII 入り口の引き戸の使用について

- ・入口は引き戸です。入り口向かって右側に引いてください。
- ・外鍵が付属しています。未使用時や運搬時には防犯のため施錠をしてください。鍵の紛失に注意してください。

## VIII 照明について

### ○ ご使用方法

- ・照明は、室内入口入って左側の壁(窓側)にある照明スイッチを入れると点灯します。
- ※ソーラーシステムが外部電源から充電中の場合は使用を禁止します。

## IX エアコンについて

### ○ ご使用方法

- ・付属のエアコンの取扱説明書に従ってご使用ください。

## X 低背トイレの使用について(装備機種)

### ○ ご使用方法

- ・別紙「低背トイレ」取扱説明書をご確認いただき使用してください。

## XI 低背トイレの脱着について(装備機種)

※作業時はヘルメットを被り、手袋などをして怪我に注意しながら行ってください。

### ○ 低背トイレの外し方「Fig.6-1」

- ① 柵を外してください。左右の端にそれぞれ M8 ボルト(左右 2 箇所ずつ)で固定されていますので、インパクトレンチやメガネレンチなどを使用し外してください。
- ② 低背トイレを固定しているラッシングベルト(左右 2 本)を緩めます。
- ③ ラッシングベルトの両端にあるフックをフロアにあるアイボルトから外して緩めます。
- ④ 低背トイレの前面側下の両端にあるアイボルトを外します。  
※外すのが固い場合、トイレへの接触到に気を付け、シノなどをアイボルトの穴に刺して緩めてください。
- ⑤ 低背トイレの両側にある手掛けに指をかけて手前に引き出します。
- ⑥ 設置場所のフロアと地面との段差があるので、横転などに注意しながらハンドリフターを事前に準備してから、クルケイ本体から引き出してリフターに載せて取り外してください。
- ⑦ 外したアイボルト(二箇所)を装着してください。

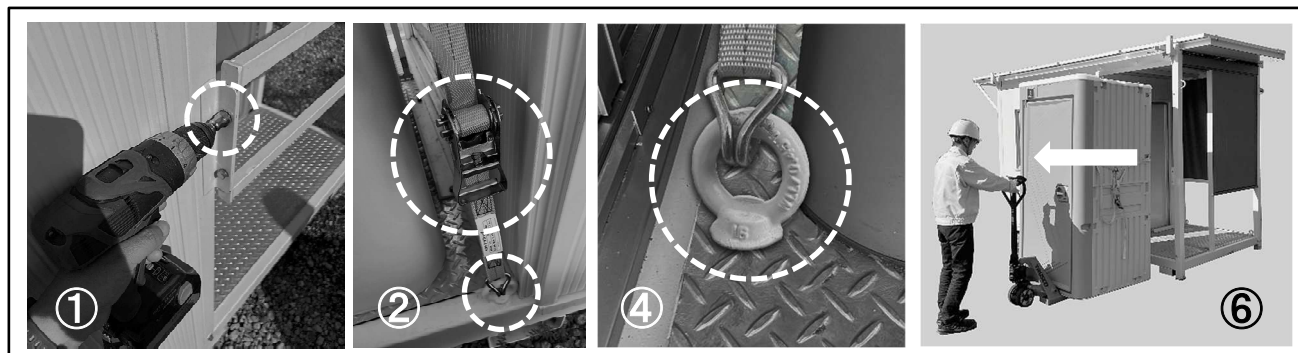


Fig. 6-1

### ○ 低背トイレの取り付け方「Fig.6-2」

⑧低背トイレの外し方と反対の手順(⑦→①)で取り付けてください。

⑨低背トイレを設置場所に押し込むときは、向って左側にガイドに沿って奥まで押し込んでください。

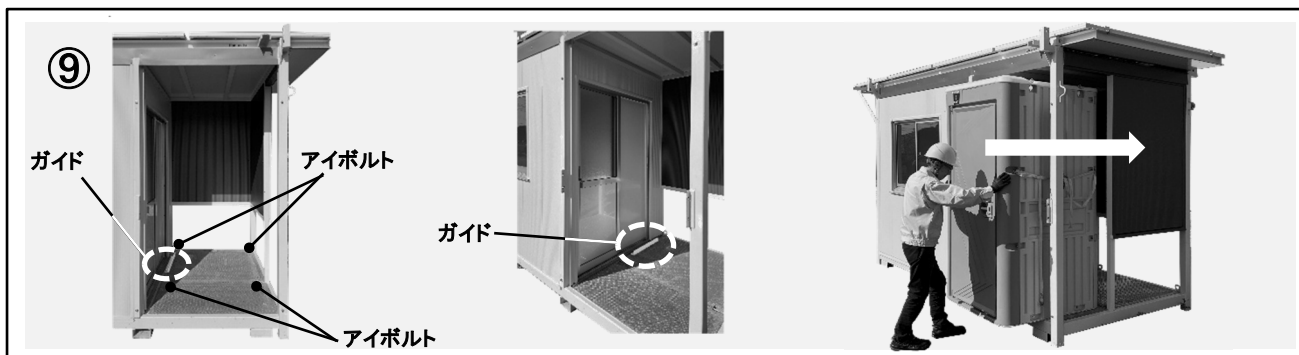


Fig. 6-2

## XII 昇降タラップ(オプション)の使用方法について

※オプションの昇降タラップが装備されている機種に限る。

※詳細は昇降タラップに付属の取扱説明書をご確認ください。

※お客様でご用意された昇降タラップはメーカー付属の取扱説明書をご確認ください。

### ○ 昇降タラップの設置方法「Fig.7-1」

①昇降タラップを固定金具から外します。

②トラックの荷台後方のあおりを倒し、注意しながら昇降タラップを荷台から降ろします。

③あおりの上端部分と荷台の隙間に左右のフックを差し込みます。その際、ステップが水平になるようにしてください。また、がたつきが無いか確認してください。

④滑りにくい履物でステップ中央を1段ずつゆっくり、昇降ステップ側を向きながら昇降してください。

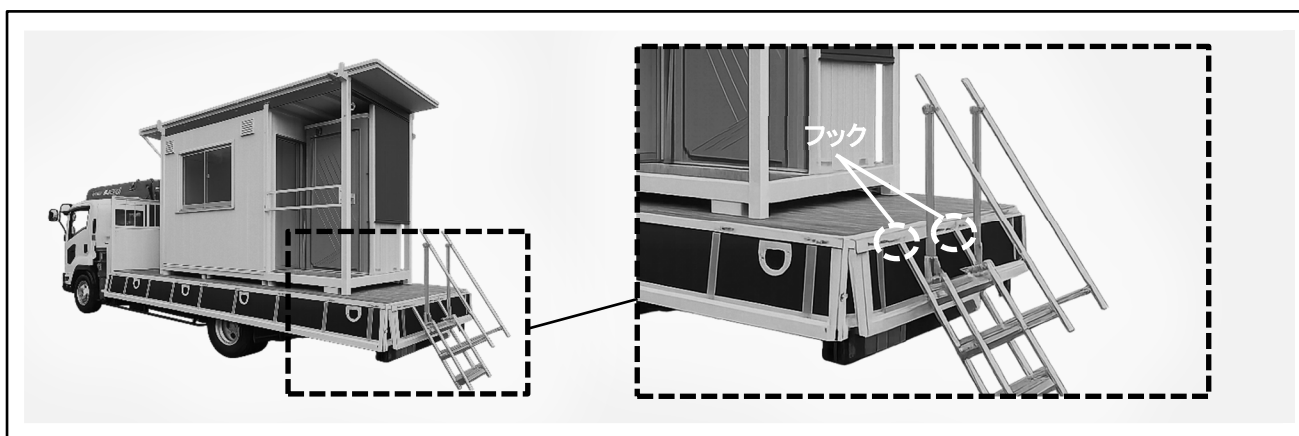


Fig. 7-1

### ○ 昇降タラップの撤去および固定方法「Fig.3-5」

⑤左右のフックを外して、昇降タラップ設置場所(固定金具の場所)まで移動させてください。

⑥固定金具に対して昇降タラップの手摺部分を固定具側に向けて置き、固定金具に固定してください。

⑦固定金具にしっかりと固定されているか、がたつきが無いか確認してください。

### XIII パーテーション(オプション)の使用方法について

※クルケイにパーテーションが装備されている機種に限る。

※昇降タラップ(オプション)装備機種はパーテーション取り付け前に必ず取り付け金具を左右に移動してください。

#### ○ パーテーションの取り付け方法「Fig.8-1」

①クルケイ本体の柵が固定されている左右の柱部分、上部に固定用の穴が1箇所ずつ用意してあります。

パーテーションの上フレームの両端に各1箇所ずつ穴が開いています。そこに固定用の穴を合わせてください。

②その穴に M8 のボルトを1本ずつ締めこんで固定してください。

③パーテーションのシートを必ず柵の内側(トイレ側)に通して下フレームを、上フレームと同様に左右の柱の下部にある穴に下フレームの両端を合わせ、M8 ボルトを1本ずつ締めこんで固定してください。

シートは必ず柵の内側を通すようにしてください。この時に昇降タラップ用(オプション)の取付金具(昇降タラップ付属品)を取り付けてある場合は、Fig.8-1 のように隅(左右)に移動させてください。

④シート中央部の両端に取り付けてある紐を左右の柱に縛って、風でなびかないように固定してください。

#### ○ パーテーションの取り外し方法

※クルケイ本体の運搬時、移動時には必ず外してから行ってください。破損や事故の原因になります。

⑤取り付け方法の逆の手順(④→①)にて取り外してください。

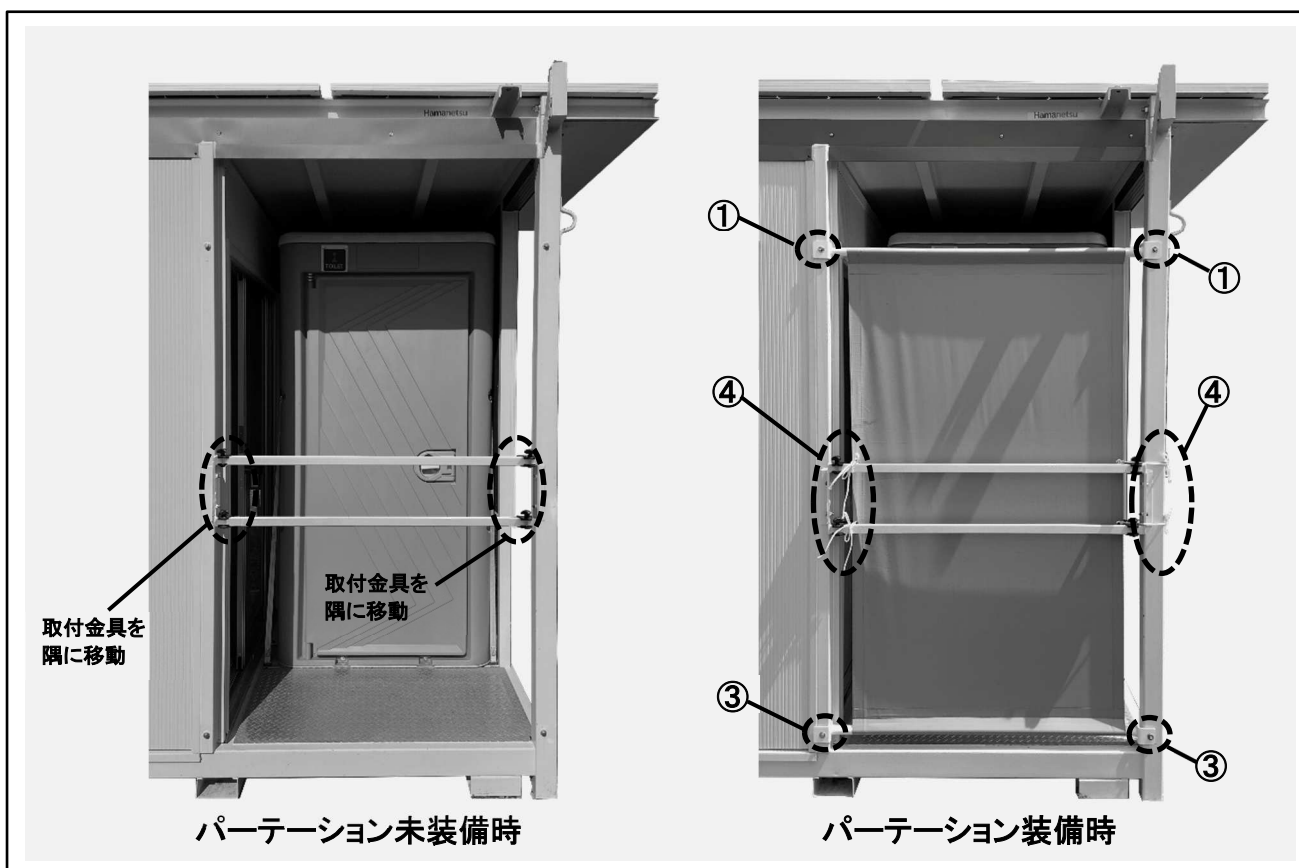


Fig. 8-1



## XIV Wi-Fi モジュールの設定について

- ・Wi-Fi 経由でインターネットに接続して、遠隔で電力の消費、発電状況、アラーム履歴の記録を確認できます。
- ・ソーラーシステム起動後、Wi-Fi の使用できる環境にて管理者様は以下の方法で登録作業を実施してください。
- ・登録方法および詳細は付属の「ハイブリッド型インバーター用 Wi-Fi モジュール取扱説明書」を確認してください。
- ・スマートフォンで登録: QR コードスキャンして「SOLARMAN Smart」APP をダウンロードしてください「Fig. 8-2」。
- ・PC で登録:「<https://home.solarmanpv.com/login>」にログインしてください「Fig. 8-3」。



## XV その他

- ・室内に 2 口 15A コンセントを室内の前面側、後面側に 1 個ずつ装備しています「Fig.1-1、Fig.1-2」。
  - ・室内にカーテンレールを前面室内側(窓部分)に 1 箇所装備しています。お客様でカーテンをご用意いただき装着することが可能です「Fig.9-1」。
  - ・カーテン取り付け参考寸法 (ランナー数:計 16 個／両端固定穴あり、中央にマグネットランナーあり)
- 前面窓:幅 約 2140mm×高さ 約 900mm／推奨カーテン規格:幅 1000mm × 丈 1100mm (両開き 2 枚組)

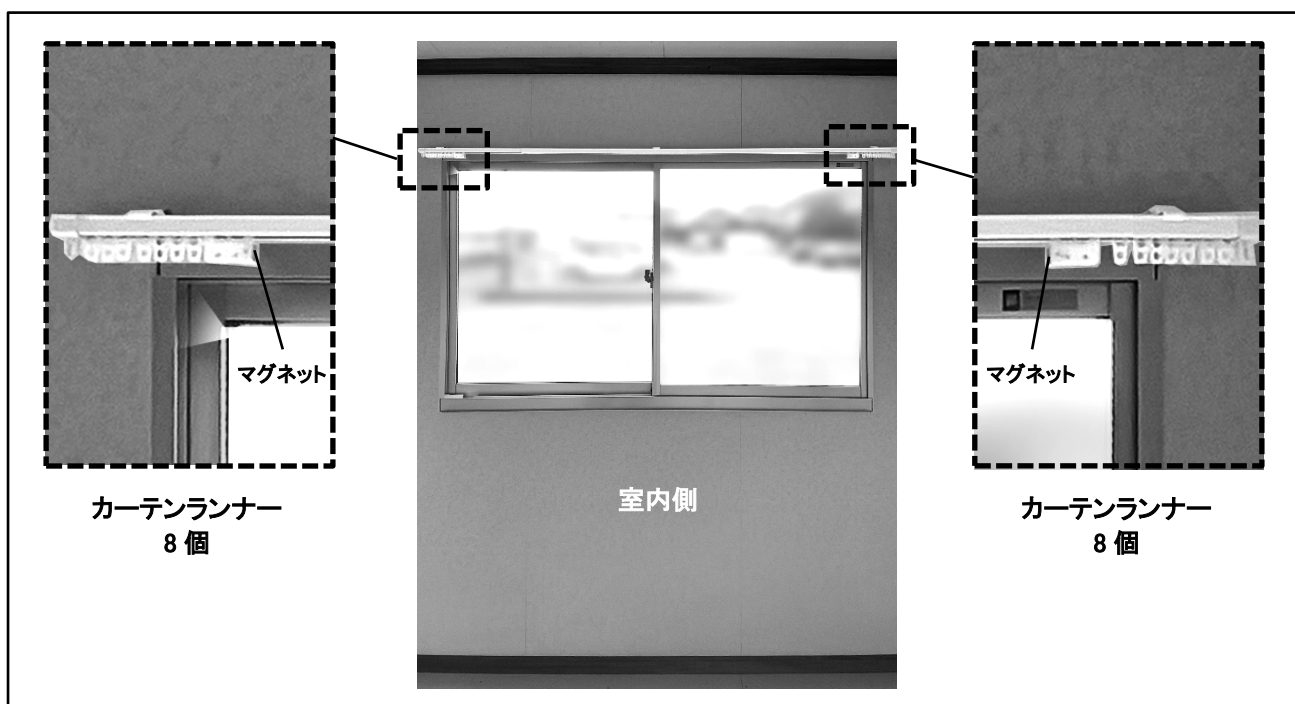


Fig. 9-1

## 5.お手入れ方法

- ・メンテナンス、清掃をする際は製品構成部材で怪我をしないよう厚手の手袋等、保護具を必ず着用してください。
- ・清掃は柔らかい布やスポンジ等を使用してください。研磨剤や硬いブラシは使用しないでください。
- ・清掃する際は、中性洗剤にて洗浄後、洗剤が残らないように水拭きしてください。酸性洗剤、アルカリ性洗剤、重曹、ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。また、室内を清掃する際は散水洗浄をしないでください。

## 6.仕様

| 仕様                  |           | スペック                                 |                                     |
|---------------------|-----------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 最大外観寸法(mm) (幅×奥行×高) |           | 4,700×1,900×2,580(屋根、吊り金具含む)         |                                     |
| 外観寸法(mm) (幅×奥行×高)   |           | 3,600×1,700×2,580(休憩室、トイレ設置部、吊り金具含む) |                                     |
| 室内寸法(mm) (幅×奥行×高)   |           | 2,300×1,550×2,120(休憩室のみ)             |                                     |
| 重量(kg)              |           | 約 1,320(低背トイレ有)／約 1,230(トイレ無)        |                                     |
|                     | 部位        | 材質                                   | 備考                                  |
| 本体                  | 屋根        | 亜鉛メッキ塗装鋼板                            |                                     |
|                     | フレーム      | スチール(塗装)                             |                                     |
|                     | 外壁パネル     | ガルバリウム鋼板                             | ※金属サイディング                           |
|                     | 内装パネル     | プリント合板                               |                                     |
|                     | 天井        | プリント合板                               |                                     |
|                     | フロア:室内／室外 | 塗装合板／亜鉛メッキ鋼板                         | ※室外フロアは縞鋼板                          |
|                     | 吊り金具      | スチール(塗装)                             |                                     |
|                     | 引き戸       | アルミ                                  | 鍵 5 本付属                             |
|                     | 窓         | 透明ガラス、アルミ                            | ※シャッターはオプション                        |
|                     | 柵         | スチール(塗装)                             |                                     |
|                     | アイボルト     | スチール(亜鉛メッキ)                          | 4 箇所、トイレ固定用(フロアに設置)                 |
|                     | ガラリ       | 樹脂                                   | 2 箇所                                |
| 備品                  | エアコン      | —                                    | リモコン付属<br>詳細は付属のエアコン取扱説明を確認ください     |
|                     | ラッシングベルト  | —                                    | 室外機固定用 2 本付属                        |
|                     | 照明(休憩室)   | —                                    | LED 仕様、14.6W(50Hz/60Hz)             |
|                     | コードリール    | —                                    | AC100V、コード長 6M、アースクリップ付             |
|                     | カーテンレール   | 金属                                   | ※カーテンは別途ご用意ください                     |
|                     | コンセント     | 樹脂                                   | エアコン用:1 口 1 個 20A<br>汎用:2 口 2 個 15A |

|    |             |    |                                                                                                                                                |
|----|-------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 備品 | ソーラーパネル     | —  | 最大出力:410W／枚<br>重量:20.8kg／枚<br>詳細は付属の「太陽電池モジュール」取扱説明書をご確認ください                                                                                   |
|    | インバーター      | —  | 詳細は付属の「ハイブリッド型インバーター」取扱説明書をご確認ください                                                                                                             |
|    | Wi-Fi モジュール | —  | ソーラーシステムの遠隔監視用<br>詳細は付属の「ハイブリッド型インバーター用 Wi-Fi モジュール」取扱説明書をご確認ください                                                                              |
|    | 蓄電池         | —  | リン酸鉄リチウムイオン電池<br>電池容量:10.24kWh(200Ah)<br>重量:95.2kg<br>充電時間:ソーラーは約 7 時間<br>充電時間:外部電源は約 20 時間<br>※AC100V、15A の場合<br>詳細は付属の「スマート蓄電池」取扱説明書をご確認ください |
|    | 配電盤         | —  | 直流ブレーカー75A<br>直流ブレーカー15A                                                                                                                       |
|    | 分電盤         | —  | 交流ブレーカー15A<br>交流ブレーカー30A<br>交流ブレーカー20A                                                                                                         |
|    | 低背トイレ       | 樹脂 | 装備されている仕様に限る<br>詳細は付属の「低背トイレ」取扱説明書をご確認ください                                                                                                     |

## 7.故障かな?と思ったら

### I お問い合わせ先一覧

#### ①お問い合わせ先

・株式会社ハマネツ 東京本社内 カスタマーセンター TEL:03-4329-1000(代表番号)

#### ②エアコンに関するお問い合わせ先

・エアコンのサービスセンター TEL:0120-88-1081(メーカーのカスタマーセンター直通)

#### ③ソーラーシステム(限定)に関するお問い合わせ先

・株式会社ハマネツ R&D センター内 品質保証部 TEL:053-428-4286(直通番号)

## Ⅱ 不具合への対処方法について

| 現象                    | 想定される原因                      | 対処方法                                                                                                |
|-----------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ドアが開かない               | 外から鍵がかかっている                  | 付属の鍵にて解錠してください。                                                                                     |
| 照明が付かない               | 分電盤の漏電遮断器が「切」になっている          | 分電盤の漏電遮断器を「入」にしてください                                                                                |
|                       | ソーラーシステムの蓄電池の残量が 10%以下になっている | 蓄電池の残量を確認してください。<br>10%以下の場合は充電をしてください。                                                             |
| エアコンが動かない             | リモコンに電池が入っていない               | 電池を入れてください。                                                                                         |
|                       | 分電盤の漏電遮断器が「切」になっている          | 分電盤の漏電遮断器を「入」にしてください<br>蓄電池の残量を確認してください。                                                            |
|                       | ソーラーシステムの蓄電池の残量が 10%以下になっている | 10%以下の場合は充電をしてください。                                                                                 |
| 室内が冷えない・温まらない、その他の不具合 | エアコンが故障している                  | 付属の取扱説明書を確認し、解決しない場合は「Ⅰ お問い合わせ一覧」②に記載の連絡先までご連絡ください。                                                 |
| ソーラーパネルから充電ができない      | 曇りで太陽の照射量が足りない               | コードリールを使用して外部電源から充電してください。その場合は電気機器の電源を切り、使用しないでください。                                               |
|                       | ソーラーシステムの蓄電池の残量が 0%になっている    | 「Ⅰ お問い合わせ一覧」③に記載の連絡先までご連絡ください。                                                                      |
|                       | ソーラーシステムが故障している              | 「Ⅰ お問い合わせ一覧」③に記載の連絡先までご連絡ください。                                                                      |
| Wi-Fi モジュールが設定できない    | Wi-Fi の電波が受信できない             | Wi-Fi の電波が発生しているか確認をしてください。<br>もしくは携帯電話のテザリングで実施してください。<br>※2.4GWi-Fiに接続してください。5GWi-Fiはサポートされていません。 |

上記の対処方法を実施しても改善されない時は、「Ⅰ お問い合わせ一覧」①までお問い合わせください。

## 8.廃棄処分

### Ⅰ エアコンの処分方法について

- ・エアコンは家電リサイクル法の対象となります。
- ・エアコンの廃棄処分については、購入された販売店またはお住いの市区町村へご相談ください。

### Ⅱ 蓄電池の処分方法について

- ・蓄電池を廃棄される際には、地方自治体の定めた処分方法に従って廃棄してください。

## 9.保証規定

### 1.保証内容

- ・取扱説明書に従って使用者が通常使用したにも関わらず、製造上の責任による使用上支障をきたす不具合があった場合は、本品質保証規定に従って無償修理をいたします。ただし製品個別に本書と異なる定めがある部分については、個別の定めが優先して適用されるものとします。

### 2.保証期間

- ・お買い上げ日より1年

### 3.免責事項

- ・本来の使用目的以外の使用や使用上の誤り、法令等に違反した使用に起因する不具合
- ・天災その他不可抗力(火災、暴風雨、水害、地震、落雷、雪害、噴火、公害、異常電圧等)に起因する不具合
- ・使用者が構造、機能を変更または改造したことに起因する不具合
- ・使用者が適切な維持管理を行わなかったことに起因する不具合
- ・強度基準を超えた条件下での使用に起因する不具合
- ・設置や保管場所周辺の自然環境や使用環境などに起因する以下を含む不具合
  - ▶海岸付近による塩害や融雪剤等による塩害、温泉地等での腐食性ガス、酸性雨等による腐食
  - ▶大気中の煤塵や砂塵・金属粉や周辺工業活動等に伴う腐食性ガス等による腐食
  - ▶動植物の影響や薬品付着、周辺で発生する振動等による損傷
  - ▶凍結による破損
- ・強い衝撃や転倒、落下、無理な動作による不具合
- ・暴動、犯罪など不当な行為や破壊行為による不具合
- ・経年に伴うめっきや塗装の剥離、キズ、摩耗に起因するサビ腐食等の不具合
- ・経年に伴う塗装劣化や表面の色あせ等の外観上の変化
- ・軟弱地盤や強風地域など設置個所の条件に適した基礎施工や固定が行われなかったことによる不具合
- ・機能上で支障のない音、揺れ、臭い、硬軟など感覚的な現象
- ・付帯する設置工事、電気工事など製品本体以外に起因する不具合
- ・当社が製造および施工していない建造物および設備等に起因する不具合
- ・電球、乾電池、パッキン類、洗浄剤等の消耗品
- ・製品の故障に起因する機械、設備、器具の損傷や機会損失、逸失利益などの二次的損害
- ・納品までの輸送などの取扱い上で致しかたなく発生する軽微なキズなど製品特性に起因する現象

### 4.無償修理の依頼方法

- ・無償修理を依頼される場合は、保証書をご提示の上、お買い上げいただきました販売店または工事店にご依頼ください。
- ・保証書のご提示がない場合(※)や保証書の内容に書き換えがある場合は無償修理をお受けできません。  
※.保証書がない場合でも購入履歴が当社で確認できる場合は無償修理の受付をさせていただきます。

## 5.その他

- ・本品質保証規定および保証書は日本国内においてのみ有効です。海外に持ち出された場合はその時点で保証対象外となります。
- ・保証書は本品質保証規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ・保証書にご記入いただく住所などの情報は保証期間内およびその後のサービス活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

- 製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。
- 本説明書を紛失・破損された場合は、弊社までご連絡ください。  
直ちにお送りいたします。万一の紛失に備え、下記連絡先をあらかじめ控えておいてください。
- その他ご不明な点等ございましたら、下記の弊社窓口までお問い合わせください。

**株式会社 ハマネツ** カスタマーセンター

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-6-4 新大崎勸業ビルディング 4F  
TEL:03-4329-1000 FAX:03-4329-1012

**Hamanetsu**  
<https://www.hamanetsu.co.jp/>